

# 令和3年度与論町海洋教育

## 茶花小学校4年生



サンゴに関するクイズの時間



グラスボートから与論の海のサンゴ礁を観察



今日は何を学んだかな？学びを振り返り

- ・ サンゴに関する基礎知識を学ぶ
- ・ 自分たちの住む与論島に現存するサンゴ礁を実際に観察し、現状を知る

7月14日、茶花小学校4年生の海洋教育授業「サンゴ礁の海観察会」が実施されました。講師はNPO法人海の再生ネットワークよろん 池田香菜さんです。島内の小学校3, 4年生を対象に実施していただいている授業です。

授業はサンゴの基礎知識をクイズ形式で学ぶ授業から始まりました。「サンゴは植物？動物？」、「サンゴは卵を産んで増える？分裂して増える？」、「サンゴは浅い海に住んでいる？深い海に住んでいる？」。サンゴを見たことがあっても、「どっちだったかな？」と頭を悩ます問題です。子供たちは自分の考えを付け加えながらクイズに答え、楽しみながら学んでいました。

授業の後半は、屋外での活動です。グラスボートに乗ってサンゴ礁を観察しに行きます。乗船準備の段階から、子供たちがワクワクしているのが伝わってきました。

グラスボートで向かったのは、茶花小学生が遠泳大会で泳ぐウドノスピーチが見える場所です。今回は自分たちでは行くことが難しい、リーフの外の海へと向かいました。グラスボートから見える海の中の様子が徐々に変化していくことに、子供たちは夢中になりました。知っている魚など生き物の名前、サンゴの形、色などそれぞれの発見したことをクラスメイトと共有していました。

今、与論の海にはどのようなサンゴがいるのか。また、それぞれのサンゴの周りにはどのような生物が生活しているのか。教室でのクイズを通して学んだ内容を実際に見ることができたのは、とても貴重な体験だったのではないでしょうか。

約半日、盛だくさんの内容でしたが、子供たちにとって記憶に残る時間でした。

御協力いただいた皆さん、本当にありがとうございました。